

許 可 番 号	倫-540
研 究 課 題 名	Cup-like 急性骨髄性白血病の臨床的特徴を解析する研究
診 療 科	血液内科
研 究 責 任 者	渡邊 直紀
資 料 ・ 情 報 の 管 理 責 任 者	渡邊 直紀
研究の目的と方法	Cup-like 急性骨髄性白血病 (Acute Myeloid Leukemia; AML) は核内がえぐられたカップ様の形態を占めず AML である。2004 年に Kussick らにより提唱された疾患概念である 1)。免疫学的には CD34 陰性、HLA-DR (human leukocyte antigen-DR) 陰性、染色体は正常核型で FLT3-ITD (Fms-like tyrosine kinase 3-internal tandem duplication) 遺伝子変異を効率に認める。末梢血は白血球の増加を示し、MPO (myeloperoxidase) 強陽性の芽球が多数で骨髄では AML-M1 の像となることが多い。予後不良であることから特徴的な形態像は診断の重要なポイントである。また、微細な顆粒を有すること、類似した細胞表面マーカー所見を呈することより、急性前骨髄急性白血病の variant との鑑別が問題となる。Cup-like AML の本邦でのまとまった報告はないため、その臨床的特徴を解析する。
利用、又は提供する 試料・情報の項目	検査データ、診療記録
研 究 対 象 者	当院で診断された Cup-like 急性骨髄性白血病
研 究 対 象 期 間	西暦 2017 年 4 月 1 日から西暦 2017 年 9 月 30 日の間
利用する者の範囲	当院のみで実施
個人情報の取扱い に つ い て	使用するデータは、個人情報特定されないよう匿名化に十分配慮して扱います。 研究成果が公表される場合にも、患者さんが特定できるような情報が公表されることはありません。
お問い合わせ先	該当する研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報を利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。  順天堂大学医学部附属静岡病院 血液内科 電話：055-948-3111(代表) 研究責任者：渡邊 直紀